

第2回 憩の家指定管理者選考委員会 議事録概要

日時 令和7年10月2日（木）10:00～12:00

場所 衣笠コミュニティセンター 3階 多目的室

出席者（選考委員） 有識者：手塚明美、岩本毅、二本木佳代子

市職員：清水佳子、藤原一葉

*参考：傍聴者 4名

1. 開会

2. 審査方法、質疑確認

事務局から、本日は次期指定管理者として申請のあった2団体からのプレゼンテーションが行われる。プレゼンテーションの発表時間は20分まで、委員の質問時間は10分程度とする。

審査は、事前に配布した申請資料や、本日の発表及び質疑の内容などを総合的に判断し、選考基準に沿った評価を行う。2団体のプレゼンテーションが終わったところで、各委員の仮採点をもとにして意見交換を行う。

最終的な採点は、委員会の具体的な評価意見をまとめながら第3回選考委員会で決めていく旨、説明した。

3. プレゼンテーション及び質疑

手塚委員より、公開会議であることを報告した。

事務局から会議の成立（委員5名中、5名出席。）を報告し、憩いの家指定管理者公開プレゼンテーションを開始した。

2つの指定管理者申請団体による提案説明及び、選考委員からの質疑応答を行った。概要は次のとおり。

（1）株式会社 キャリエ・レゾ

質問①：障がい者雇用について、法定雇用率未達成となっているが、なぜか。

回答①：昨年まで在籍していたが、職員の退職があったため指定管理者申請書提出時点では未達成となった。

質問②：防火管理者は資格保有者が担当しているか。

回答②：保有者がいることを確認している。

質問③：高齢者が IT に親しむことは可能か、どんな取り組みがあるか。

回答③：具体的な提案として、「太鼓の達人」などのゲームを若い利用者と一緒に楽しむ工夫ができないか考えている。講座開催の実績もある。

質問④：施設の入口にスロープや、フェンスに隙間がある。事故が心配だが、お子さんの安全にも配慮が必要と思うがどうか。

回答④：別施設での運営ノウハウがあり、積極的に活用していきたい。

質問⑤：職員体制は 4 名か。

回答⑤：職員体制は 4 名（館長 1 名、配置 2 名、巡回 1 名）で運営する。

質問⑥：地元町内会の規模が大きく、防災面での心配や高齢者が来所しにくい（遠い、登り坂、駐車場なし）という課題がある。地域との調和や地震等災害時の近隣の協力、訓練参加が望ましいと思うがどうか。

回答⑥：防災訓練等への参加意向あり。

質問⑦：指定管理料・経費について聞きたい。例えば p34 の「光熱水費削減」のところで、憩いの家の施設が老朽化している中で、LED、断熱シート、IoT を導入して経費削減するとあるが、設備投資額は資料のどこに反映されているのか。収支予算書などに費用が記載されているのか。

回答⑦：電気工事は指定管理者が、比較的安価に対応できるルートをもっている。予算の中に工事費等は細かく計上してないが、予備費で対応する。

質問⑧：今回の憩いの家は、キャリエ・レゾが今までやってきた所に比べて規模が小さいし、立地条件も良くないと思う。特殊な条件の中で、この施設のどこに魅力を感じたのか。どうすればもっと良くなると思うのか。何か考えている事があれば聞きたい。

回答⑧：弊社は、横須賀市もやっている「ギガスクール構想」に深く携わっているのも、その特性を活かしたいと考えている。実際に小中学生にパソコンを教える授業をしていると、逆に高齢者と接する機会がさらに少なくなっているのではないかと感じることもある。今回の憩いの家では、子供たちと高齢者が館内でナチュラルにふれあう機会が増えているので、今後、弊社のノウハウを積極的に取り入れ、運営改善や施設サービスの活性化につなげていきたいと思う。

（２）一般財団法人 シティサポートよこすか

質問①：対象が、高齢者専用から多世代に代わる。利用促進・送迎等について具体例な対応策はあるのか。

回答①：坂道や、駐車場がない点への対応として、多世代向けにバス時刻表を掲示するなど、少しでもたくさんの方が来やすいようにと模索している。

質問②：資料によると横須賀市の仕事しかしていないが、理由があるのか。

回答②：横須賀市の仕事しかできないという決まりはないが、あくまで法人の設立の趣旨として、現在のところ横須賀市の皆様に公共サービスを届けることを主な活動としている。

質問③：障がい者雇用は４名で、御社の理解と努力を感じる。また、今の館長は、地域への配慮がとても丁寧で、町内会とのコミュニケーションも良く取れていると感じる。

回答③：法人内での障がい者雇用は４名である。業務でも良く特性を活かしている。

質問④：今までの高齢者を対象とする施設だったので、どうしても高齢者に偏りがちな講座の設定になっているが、子どもが魅力を感じる取組・講座等はあるか。広報・周知も含めて聞きたい。

回答④：施設へ足を運ぶ動機づくりとして、親子で楽しめる講座を今年度は１７ある講座のうち、２つ実施した。来年度以降は更にそういう講座を増やす予定である。また、昼間の利用者に子どもも多く、講座だけでなくイベント企画等も行っていきたいと考えている。今後も、小規模な部屋のため人数制限はあるが、広報等工夫し地域貢献に努めていく。

質問⑤：指定管理料上昇の要因は何か。

回答⑤：主として人件費高騰が増加の理由である。物価上昇、光熱水費なども一因となっている。

質問⑥：施設を運営していて、どこに魅力を感じているのか。どうすればもっと良くなると思うのか。逆に交通の利便性など、今後の課題としてはどう認識しているのか。

回答⑥：現状管理している施設の交通の便が悪いという課題に対して、どこをどう解決していくかは模索中である。ただ、来館者アンケートでは、「十分満足」「快適」「みなさんと会えて嬉しい」との好意的な声も多い。職員にも温かい声が寄せられ、来館者が「ただいま」と声を掛けてくれるなど、家庭的な雰囲気の魅力という意見もあり、運営していく上で、とても励みになっている。

質問⑦：なぜ公益財団法人でなく、一般財団法人で運営するのか。公益目的事業と一般財団法人の役割についても聞きたい。

回答⑦：市民サービスに加え、収益事業にもフレキシブルに対応するため一般財団法人としている。一般財団法人なので、活動内容の自由度を保ちながら、利用者の要望に柔軟に応えていきたい。

4. 委員意見交換

手塚委員長の進行で各委員の仮採点をもとに意見交換を行った。また、第3回の選考委員会のスケジュール概要と、進行について、事務局から説明した。

5. 閉会

手塚委員から、第3回の選考委員会は、令和7年10月20日（月）10時から衣笠行政センター 3階多目的室で開催すること。また、一部公開会議であることを確認し閉会した。